

(報告)

「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」における学校事務職員指標の策定について

令和6年3月8日

教職員人事課

1 事務職員指標策定の経緯

「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」については、教育公務員特例法に基づき、校長及び教員について校種別に策定し、同指標に基づいた研修を実施してきたところである。

学校事務職員は学校の「事務をつかさどる」とこととされ、主体的・積極的に校務運営に参画されることが求められていることから、計画的及び系統的に人材育成を図る必要があり、学校事務職員においても新たに指標を策定する。

2 指標の目的

次の事項を目的として、事務職員の指標における資質能力の内容を定義

- (1)事務職員の人材育成に係る道しるべとし、これを活用してOJTを促進
(2)自身の立ち位置や果たすべき職責に関する理解を促進
(3)職位等に応じた研修について、位置づけを再整理することで職員への奨励を促進

3 キャリアステージ

教員と同様に、着任時(採用段階)から、自身の経歴やキャリアを踏まえて自らが今の位置にいるのかなどを常に省察しながらキャリアアップを図ることができるよう、職位を目安として5つの期に設定している。

段階(職位)	キャリアステージの概要
①着任時(ステージ0)	事務職員の出発点において身につけるべきこと、また、京都府が任命権者として採用段階で志願者に求めるもの
②初任期(ステージ1) (目安職位:主事)	事務職員研修や日々の業務遂行におけるOJT等を通して、学校事務についての基本的な知識を身に付け、事務職員としての基盤を構築する段階
③中堅期(ステージ2) (目安職位:主任)	研修や経験を通して学校事務に関する専門的知識を高め、ミドルリーダーとして分掌事務を遂行するとともに、先輩教職員から学びつつ、後輩教職員に対して経験や年齢が近い立場から助言するなど、人材育成に関わる段階
④充実期(ステージ3) (目安職位:事務主任)	研修や経験を通して学校事務についての専門知識をさらに高めるとともに、校務分掌組織の中心として学校運営に参画し、同僚や後輩教職員への助言・支援も行うなど、中核事務職員としての役割を担う段階
⑤熟練期(ステージ4) (目安職位:専門幹) 【学校経営への参画】	豊富な経験と継続的な自己研鑽により、広い視野に立って業務を遂行し、他の教職員の模範となる安定感や信頼感を有し、さらなる工夫・改善にも不断に取り組むとともに、各分野におけるリーダー(事務長、事務長補佐、共同学校事務室のリーダー等を含む。)として学校運営(経営)に積極的に参画する段階

事務職員

観点	(主な要素)	ステージ0	ステージ1
		着任時	初任期(主事)
基本的 資質能力	使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽	○教育的愛情と使命感・情熱をもっている。 ○職業生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。 ○多様性の尊重やハラスメント防止等、社会人として必要なモラルや常識を身に付けている。 ○円滑なコミュニケーションができ、良好な人間関係を築くことができる。 ○事務職員の職務を理解し、それに向かって自己を省察し、常に学び続けようとしている。 ○ICT等を適切に活用し基本的な校務の処理ができる。	○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、社会人として良識ある言動ができる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と円滑なコミュニケーションができる。 ○自己を省察しながら研修に励み、他から積極的に学ぶ姿勢を有している。 ○ICT等を適切に活用し、正確に校務の処理ができる。
人権	人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援	○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚をもっている。 ○人権教育に関する基礎的な知識を有している。 ○困難な状況におかれた児童生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。 ○一人一人の児童生徒を大切に、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基礎的な知識を有している。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に関する基礎的な知識を有している。	○人権尊重の精神に基づいて行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に取り組むことができる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対して、ICT環境をはじめとした、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した学習環境の整備に努力できる。
事務職員 としての 専門領域	文書管理・服務・任免・給与・福利厚生・災害補償・就学奨励・就学支援・財務・会計・施設管理・その他学校事務、学校運営に係る事務の企画・立案、連絡調整、ICT活用、情報管理、情報モラル	○学校事務について基礎的な知識を有している。 ○常に事務処理能力を向上させようとする姿勢があり、定型業務について正確で丁寧な事務処理を心がけている。 ○教育課程や学校教育目標について、理解しようとする姿勢がある。 ○調整能力を高めようとする姿勢がある。 ○ICT活用の基礎的な知識や技能を有し、業務改善のための方法・技術を学ぶようとする姿勢がある。 ○個人情報の取扱いや情報管理、情報モラルについて、基礎的な知識を有している。	○学校事務について基本的な知識を習得し、正確で丁寧な事務処理ができる。 ○知識や経験により事務処理や仕事の進め方を工夫できる。 ○年間を見通し、計画的に事務を進めることができる。 ○担当する事務において自己の役割を理解し、業務に取り組むことができる。 ○教育課程や自校の教育目標について理解し、その実現や課題の解決を念頭において業務に取り組むことができる。 ○ICT活用の基礎的な知識や技能を有し、データ等も有効に活用して基本的な業務ができる。 ○情報管理の重要性を理解し、情報の発信や収集に関わることができる。 ○情報モラルに関わる事象について、倫理的・教育的な観点から判断し、業務を遂行できる。
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理	○校務分掌や学校運営の仕組みなどの基礎的な知識を有している。 ○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。 ○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基礎的な知識を有している。	○担当する校務分掌における自己の役割を理解し、責任をもってその役割を果たすことで学校運営に参画できる。 ○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うなど、学校の危機管理マニュアルに沿った行動ができる。
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	○他の教職員、家庭や地域社会、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。 ○資質能力の向上の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導・助言を受け、自己の資質能力を向上させようとする姿勢がある。	○校務分掌組織の一員として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。 ○機会に応じて保護者や地域社会と交流し、実態の把握に努めることができる。 ○専門家や関係機関と連携しながら業務を遂行できる。 ○管理職や先輩教職員から積極的に学ぶ姿勢をもち、その指導・助言を受けて、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に取り組むことができる。
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、超スマート社会やグローバル社会への対応	○京都府教育振興プランを理解している。 ○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化に対する基礎的な知識を有し、児童生徒に継承していくことの必要性を理解している。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力をはぐくむことの重要性を認識し、自らのコミュニケーション能力、発信力を高める努力をすするとともに、児童生徒に身に付けさせる必要性を理解している。	○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動の支援に努力できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深めるよう努力できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための効果的な指導ができるよう、学習環境の整備に努力できる。

ステージ2	ステージ3	ステージ4	
中堅期(主任)	充実期(事務主任)	熟練期(専門幹)	【学校経営への参画】
○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、社会人として模範となる良識ある言動ができる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的なコミュニケーションができる。 ○中堅事務職員としての資質能力の向上に向けて自己を省察し、積極的に学ぶことができる。 ○ICT等を適切に活用し、正確かつ効率的な校務の処理ができる。	○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、助言・支援できる。 ○さらなる資質能力の向上に向けて自己を省察し、高い意欲をもって積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につながる学習環境の整備を提案できる。 ○ICT等を適切に活用し、正確かつ効率的な校務の処理について、他の教職員に助言・支援できる。	○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼関係が確立されている。 ○コンプライアンス意識を有し、多様性の尊重やハラスメント防止等、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、他の教職員に指導・助言できる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、指導・助言できる。 ○不断に自己を省察し、研鑽に励むとともに、自らの資質能力の向上が学校全体の教育実践の充実につながるよう、学習環境の整備を計画できる。 ○ICT等を適切に活用し、正確かつ効率的な校務の処理について、他の教職員に指導・助言できる。	○高い調整力を有し、教職員の連携・協働の状況に目配りをしながら、円滑な教育活動に繋がるよう指導できる。 ○リーダーとして、不断の研鑽に励み、自らの人格と資質能力を高めながら、学校経営に参画することができる。
○人権尊重の精神に基づいて率先して行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、的確に実践できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対して、ICT環境をはじめとした、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な学習環境の整備に取り組むことができる。	○人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員に助言・支援できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた的確な支援ができる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対する、ICT等を有効活用した、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な学習環境の整備について、他の教職員に助言・支援できる。	○人権尊重の精神に基づいて、他の教職員の模範となって行動し、他の教職員に指導・助言できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項について、他の教職員に指導・助言できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、他の教職員に指導・助言できる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、あらゆる児童生徒に対する、ICT等を有効活用した、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な学習環境の整備について、他の教職員に指導・助言できる。	○人権教育を推進する牽引役として、校内体制を整え、取組を企画・指導できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、校内体制を構築できる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に必要な校内体制を構築するとともに、個別事例の的確な状況把握と他の教職員への指導ができる。
○学校事務について専門的な知識を有し、経験を生かして、正確で丁寧かつ迅速な事務処理ができる。 ○前例にとらわれることなく、学校事務に関して課題の把握・整理ができる。 ○担当する事務において自己の役割を果たすことができ、他の事務職員に助言できる。 ○学校運営を視野に入れ、学校事務に関する企画・立案ができる。 ○教育課程や自校の教育目標について深く理解し、その実現や課題の解決に向け業務に取り組むことができる。 ○校内で連絡調整を行い、円滑に業務を遂行できる。 ○ICT活用などの知識や技能を生かし、データ等も有効に活用して効果的に業務を進めることができる。 ○情報管理の重要性を理解し、情報の発信や収集が適切に行われる。 ○情報モラルに関わる事象について、倫理的・教育的な観点から的確に判断し、業務を遂行できる。	○学校事務について専門的な知識を有し、多様な経験を生かして、的確に事務処理ができ、他の事務職員に助言・支援できる。 ○学校運営に係る事務の企画・立案ができる。 ○教育課程や自校の教育目標について深く理解し、その実現や課題の解決に向け業務に取り組むとともに、他の事務職員に助言・支援できる。 ○校内や関係機関等と連絡調整を行い、円滑に業務を遂行できる。 ○ICT活用などの知識や技能を生かし、データ等も有効に活用した効果的な業務の進め方について、他の事務職員に助言・支援できる。 ○情報の発信や収集を適切に行い、個人情報の取扱いや情報管理の重要性について他の事務職員に助言・支援できる。 ○情報モラルに関わる事象について、倫理的・教育的な観点から的確に判断し、業務を遂行するとともに、他の事務職員に助言・支援できる。	○専門的な知識と豊富な経験により、広い視野に立って的確に事務処理を行い、自校の事務職員に指導・助言できるとともに、他校の事務職員にも的確に助言・支援できる。 ○学校運営に係る事務の企画・立案を積極的に行うことができる。 ○教育課程や自校の教育目標について深く理解し、その実現や課題の解決に向け業務に取り組むとともに、他の事務職員に指導・助言できる。 ○校内や関係機関等と的確に連絡調整を行い、円滑に業務を遂行できる。 ○ICT活用などの知識や技能を生かし、データ等も有効に活用した効果的な業務の進め方について、他の事務職員に指導的役割を果たすことができる。 ○情報の発信や収集を適切に行い、個人情報の取扱いや情報管理の重要性について他の事務職員に指導・助言できる。 ○情報モラルに関わる事象について、倫理的・教育的な観点から的確に判断し、業務を遂行するとともに、他の事務職員に指導・助言できる。	○事務職員としての専門性を生かしながら、教育課程の遂行、教育目標の実現に向けて、校内外の調整や進行管理を的確に行い、特色ある取組を推進できる。
○校務分掌組織の中心となつて的確に自己の役割を果たすこと、学校運営に参画できる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を図ることができる。 ○カリキュラム・マネジメントの視点をもち、教員と連携してその推進に取り組むことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用するなど、組織的かつ迅速に取り組むことができる。	○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員の支援や他の分掌組織との連携など、学校運営の中心的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を積極的に提案できる。 ○カリキュラム・マネジメントの視点をもち、教員と連携した推進の中心的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用しつつ、その改善を提案するなど、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。	○校内のリーダーとしての自覚をもち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向け、学校運営に指導的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、学校全体の視点から業務改善を図ることができる。 ○教員と連携したカリキュラム・マネジメントの推進に指導的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを作成し、的確な運用について周囲に指導・助言しつつ、中心となつて組織的かつ迅速に取り組むことができる。	○校長の方針のもと、明確なビジョンをもち、効率的な業務の遂行のための組織づくりができる。 ○教職員の業務状況の把握や健康管理が的確に行われる。 ○学校の特色を踏まえ、中長期的な見通しをもって、カリキュラム・マネジメントを方向付け推進できる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用に必要な校内体制を構築できる。
○校務分掌組織の中心として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会の状況を把握し、教育活動の支援に取り組むことができる。 ○専門家や関係機関と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。 ○管理職や先輩教職員からの指導・助言を受け、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に向け積極的に取り組み、後輩教職員に的確に助言できる。	○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員と連携・協働して、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会の状況を把握し、教育活動の円滑な推進に向け業務を遂行できる。 ○専門家や関係機関と連携・協働し、教育目標の実現に向けて業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、助言・支援したりしながら、人材育成に積極的に関わることができる。	○校内のリーダーとして、他の教職員を支援しながら学校全体の連携・協働の要となり、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会の状況を把握し、教育活動の円滑な推進に向け積極的に業務を遂行できる。 ○専門家や関係機関と連携・協働し、教育目標の実現に向けて中心となつて業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、指導・助言したりしながら、校内の人材育成に中心的役割を果たすことができる。	○教職員一人一人の資質能力や役割を的確に把握・活用し、協働的で効率的な組織を構築できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けた取組の進行管理ができる。 ○教職員一人一人のキャリアステージに応じた資質能力の形成に向け、人材育成のための校内体制を構築できる。
○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動の支援に取り組むことができる。 ○京都府の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習環境の整備に取り組むことができる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための効果的な指導ができるよう、学習環境の整備に取り組むことができる。	○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できるよう業務を遂行できる。 ○京都府の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習環境の整備について、他の教職員に助言・支援できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための効果的な指導ができるよう、学習環境の整備について、他の教職員に助言・提案できる。	○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できるよう業務を遂行でき、他の教職員に指導・助言できる。 ○京都府の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を認識し、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するため、学校全体の取組において指導的役割を果たすことができる。	○社会情勢の動きの中で教育を捉え、広い視野と教養をもって、京都府教育振興プランの実現に向けて校内体制を構築できる。 ○京都府の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための校内体制を構築できる。 ○超スマート化やグローバル化等の社会変化を見据え、京都の強みを生かして、多面的・多角的視点をもって新たな価値を生み出す力やコミュニケーション能力、発信力を育成するための校内体制を構築できる。